

書 写

東 京 書 籍
学 校 図 書
教 育 出 版
光 村 図 書
日 本 文 教 出 版

令和元年度

中高・飯水地区小中学校教科用図書採択研究協議会

(種目：書写)

発行者名 採択基準	東京書籍（書写）
1 教科の目標からの配慮	・発達段階に応じた教材が書写の「原理・原則」に従って系統的、段階的に配列されるとともに、身に付けた知識及び技能を日常生活の中で活用できるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	(1) 書写の「原理・原則」を理解しやすい文字を取り上げ、難易度・分量ともに子どもの発達段階に応じるよう配慮されている。 (2) 国語の教科書にある教材文や言語活動を取り上げるとともに、伝統的な言語文化に関する内容も豊富に取り入れられており、文字に対する興味・関心を高める学習になるよう配慮されている。 (3) 複数の文字を提示し、その共通点や相違点から書写の原理・原則を考える場面を設ける等、子どもの気付きから学習を進めることができるよう配慮されている。 (4) 点画の色分けやイラストなど、全体的に柔らかい色合いの配色で、児童の理解が深まるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 書写の原則・原理をとらえやすい文字を配列し、各学年の指導事項が焦点的に身に付けられるよう工夫されている。 (2) 発達段階に応じて段階的に学習できるよう配列され、既習事項や毛筆の要点を硬筆に生かして学習できるよう配慮されている。また、習う字全体の筆（穂先）の動きを、全てのページに載せてあるので、子どもたちにもわかりやすい構成になるよう配慮されている。 (3) 他教科の学習や特別活動等で行われる「書いて伝える」活動に、書写を関連付けた展開を提示する等、子どもの主体的な学習を育てるための工夫がなされている。 (4) 左利きの児童への配慮やデジタル資料の活用など、指導に生かすことができるよう工夫されている。 (5) 学習のまとめを児童が記入できる個所や、仲間とともに振り返る場面が設けられ、まとめが明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・ 学習内容と既習事項をインデックスで示すなど、何をどう学ぶのか明確にされ、主体的・対話的な学びができるよう工夫されている。 ・ 発達段階に応じた教材の配列、ページ構成が配慮されている。 ・ 日常生活や他教科との関連、伝統的な言語文化に関する内容が豊富にあり、より深い学びができるよう工夫されている。

(種目：書写)

発行者名 採択基準	学校図書（書写）
1 教科の目標からの配慮	・学習場面を3段階とし、相互評価を通じた「学習の進め方」が示されており、「学び方」を意識しつつ、主体的かつ対話的に取り組めるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	(1) 子どもの発達段階を考慮した文字を選び、平仮名・片仮名・漢字等を無理なく学習できるよう配慮されている。 (2) 筆や墨の製造法や文字の成り立ちや歴史等を扱った「なぜ？なに？書写の不思議」というコラムを掲載するなど、文字文化に目が向くような配慮がされている。 (3) 学習の初めに試し書きをしてから、「書き方のカギ」や友と関わりながら気をつけることを見つけるようになっており、主体的・対話的に学習を進めていくことができるよう配慮されている。 (4) 学習場面ごとの色分け・キャラクター・写真等のカラーが豊富に使われ、視覚的に理解できるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 学習指導要領の指導事項に沿って単元が系統的に配列される等、子どもの発達段階を考慮した工夫がされている。 (2) 既習事項に留意しながら文字を直接記入できる欄が設定され、前学年との関連を意識した指導ができるよう配慮されている。 (3) 学習した内容を生かし、はがきや手紙を書く欄が設けられ、生活の中で活用できるように配慮されている。 (4) 運筆のデジタル資料が用意され、穂先の動きが朱墨で表現される等、視覚的に筆の運びが指導できるよう配慮されている。 (5) 単元の最後に「書き方のカギ」を活用して書く欄が設けられており、自身の伸びを実際の文字で確認できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・ 3つの学習段階の違いが明確になるよう3色で色分けされており、課題解決の過程を意識して学習できるよう配慮されている。 ・ 半紙原寸大の教材や教科書への書き込み欄が豊富にあること等、子どもの学習を補助する工夫がなされている。

(種目：書写)

発行者名 採択基準	教育出版（書写）
1 教科の目標からの配慮	・子どもが主体的に取り組めるような単元構成になっているとともに、他教科と関連した様々な書く活動が紹介されており、書写学習を他教科や生活の場面に生かせるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 学年の発達段階に応じて平仮名や片仮名・漢字が配列され、児童が無理なく学習に取り組めるよう配慮されている。また、払いの部分を絵で表現する等、子どもたちが視覚的に理解しやすいよう配慮されている。 (2) 表紙裏や「文字の世界」では、文字や言葉の情報が、また「レッツ・トライ」では、書く活動が紹介され、子どもたちの文字や言葉、書くことに対する興味・関心が高まるよう配慮されている。 (3) 「学習の手順」や「ためし書き」、「生かそう」の欄が設定されており、児童自ら課題を見だし主体的に学習に取り組めたり、学んだことの一般化が図られたりするよう配慮されている。 (4) 筆の写真を大きく載せたり、穂先の動きや部分の形を色別に示したりする等、筆使いや形を整えて書くポイントが視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 扱う文字や語句及び文章等の画数や字形を意識する等、児童の発達段階に応じた単元の配列が配慮されている。 (2) 「本学年のめあて」と既習事項が示されており、内容のつながりを意識して指導できるよう配慮されている。 (3) 「レッツ・トライ」や「書いて伝えあおう」では、他教科の学習活動や日常生活に関連付けた展開を提示する等、習得した書写の学びを活用できるよう配慮されている。 (4) 鮮明な写真が多く使われ、運筆等のデジタル教材も用意されており、視覚的な指導がしやすいよう配慮されている。 (5) 単元末に「ふり返ろう」の欄が、学年末に「学習のまとめ」の単元があり、学んだことの確認ができるように工夫されている。
4 全体的な特色	・ 問題解決的な手順で学習を進めていく展開や友との関わり方が示される等、子どもが学習の流れを意識しやすいよう配慮されている。 ・ 書いたものを互いに見合う場面が設定されており、相手や目的をもって文字を書くことがしやすいよう配慮されている。

(種目：書写)

発行者名 採択基準	光村図書（書写）
1 教科の目標からの配慮	・発達段階に応じた教材を系統的、段階的に配列し、書写の学習で身につけた「正しく整えて文字を書く力」を他教科や日常生活に生かすことで、教科の目標を達成していくよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 点画の書き方や文字の構成を分かりやすく示した教材を系統的・段階的に配置するよう配慮されている。 (2) 和歌や古文のなぞり書き、漢字の成り立ち等、伝統的な言語文化に関することや新聞やポスターの書き方等を系統的に配置して文字に対する興味・関心を高め、学習したことを他教科や日常生活に生かすことができるよう配慮されている。 (3) 2種類の例を示し、違いやバランスを考えること等、子どもの気付きから学習を進めていくことができるよう配慮されている。 (4) 大事なことは大きく表示したり、見出しにはユニバーサルデザイン書体を用いたりする等、読みやすさに配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 学年に応じて、習得と活用を繰り返しながら書写の基本的な力が培えるよう、単元の配列が工夫されている。 (2) 教材ごとに整った文字の書き方を知る「たいせつ」が設けられ、学習のポイントを確認できるよう工夫されている。 (3) 文字の大きさや配列などの学んだ書写の技能を、他教科や日常生活に生かすことができるよう教材の配置が配慮されている。 (4) 字体の整合性を図ったり、デジタル教材で筆使いや書く速さを示したりするなど、指導に役立てられるよう工夫されている。 (5) 教材末尾に自己評価欄が設けられており、子ども自らが学習内容を振り返ることができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・ 主たる学習内容が大きく表示され、指導上必要な事項も要点的にまとめられており、学習のねらいが明確で大切なことをつかみやすい。 ・ 巻末に「たいせつのまとめ」を設け、子どもが書写の基礎・基本を確認できるよう工夫されている。

(種目：書写)

発行者名 採択基準	日本文教出版（書写）
1 教科の目標からの配慮	・新学習指導要領の内容を踏まえ、自ら課題を見つけ、美しい文字を書くためのポイント等を探求的に追求し、学んだことを生活の書く場面に生かしていけるような単元構成、教材内容になっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等〕	(1) 発達段階に応じて、正しく書くことから、字形を美しく書くことへ段階的に移行できるように教材配列が配慮されている。 (2) 「国語の広場」や「生活と書写」や生活の中にある様々な文字等のコラムが設けられる等、生活の中の文字文化に目が向くよう配慮されている。 (3) 各学年の最終単元はこれまでの学習をもとに、自分の書いた文字に対する課題を見つけ、それを解決したり、題材を選択して取り組めたりできるよう配慮されている。 (4) 顔のイラストで「穂先の向き」や「筆圧」を表わす等、感覚的に向きや力の入れ具合をとらえやすくする工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 書写の指導事項がとらえやすい文字を配列し、児童の発達段階に応じて、無理なく進められるよう配慮されている。 (2) 学年のはじめには、全学年までの既習事項を振り返る教材を載せる等、学年で学んだ事項がつながるよう配慮されている。 (3) 「語彙」を扱う「言葉のまど」を掲載し、書写の学習を日常生活に広げて活用できるよう単元の配列が工夫されている。 (4) 書く姿勢や筆記具の持ち方、運筆等のデジタル資料が用意されており、視覚的に指導できるよう配慮されている。 (5) 1時間の終わりには、自己評価欄があり、□にチェックを行うことで本時の課題に対する振り返りができるようになっている。
4 全体的な特色	・ どの単元も3つの学習段階を踏み自らの課題を解決する構成となっており、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・ 他教科や生活との関連が図られており、書く場面や目的を意識して、状況に応じて書くことができるよう配慮されている。